

講義名	憲法		
科目区分	教養一般		
担当教員	笛木 淳		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2 年生	単位数	2
		講義コード	33005

主題と概要

憲法は、国のかたちとはたらきについての基本的な原理・ルールを定めたものであり、大きくは統治機構に関するものと基本的人権に関するものに分けられる。これらの重要な原理・ルールを解説し、私たちの社会における身近なトピックや問題にあてはめて考えるきっかけを提供する。その、実際に裁判で争われた事件も参照して、それについて裁判所がどのように判断したのかも検討する。

到達目標

憲法の基本原理について、基本的な部分を説明できる。
具体的な事件における憲法問題について、判例を踏まえて検討ができる。
社会における様々なトピックに存在する憲法上の問題を発見できる。

提出課題

特になし。

評価の基準

授業で扱った範囲から、穴埋め問題、語句説明および事例問題を出題し、以下の基準によって理解度を判定する。
到達目標の事項を全て十分に達成できている：90～100点
全ての事項が概ね達成できている：80～89点
達成の不十分な事項がある：70～79
全ての事項について達成が不十分である：60～69
最低限の水準に達していない：0～59点

履修にあたっての注意・助言他

受講者には、講義内容を理解しているか確認するため、講義中に適宜質問をすることがある。
(評価には関係しないので、よく考えた上で誠実に答えて頂ければ結構です。)
疑問点・質問等については講義後に受け付ける。

教科書

一歩先への憲法入門	片桐直人ほか	有斐閣	2,370円（税込み）

プリント資料及び参考文献

毎回レジュメを配布する。参考文献は講義中に適宜指定する。

授業計画

- 第1回 ガイダンス 憲法の意義
- 第2回 統治総論（国民主権、権力分立）
- 第3回 国会
- 第4回 内閣
- 第5回 裁判所
- 第6回 基本的人権総論
- 第7回 幸福追求権
- 第8回 法の下での平等
- 第9回 思想良心の自由
- 第10回 信教の自由、政教分離
- 第11回 表現の自由
- 第12回 表現の自由
- 第13回 職業選択の自由
- 第14回 財産権
- 第15回 生存権

予習・復習

憲法（に限らず法学）は、具体的な事例と抽象的な概念をの双方をしっかりと理解する必要がある。予習段階では、指定したテキストの該当箇所を読んで、疑問点をできるかぎり明確にすること。授業後は、概念の定義や裁判例を自身の中に落とし込めるように、しっかりと復習することが望ましい。

備考